

## ◎ 聴読解問題スクリプト

**練習** 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

**1 番** 女子学生と男子学生が、雑誌を見ながら話しています。この男子学生はどの方法を試すと言っていますか。

女子学生：最近、眠れないって言ってたよね。こんなの見つけたんだけど。(紙の音) この中に、できそうなものある？

男子学生：うーん、この一番目は、布団の中で本を読んだりしてないかってこと？

女子学生：たぶん。

男子学生：布団は寝る直前に敷いてるから、寝るだけだよ。

女子学生：起きる時間は？

男子学生：土日でも6時に起きて、ジョギングしてる。寝るのは11時頃だな。

女子学生：それじゃ、お腹が空いて眠れないって時間でもないよね。

男子学生：うん。腹は減ってはいないけど、とにかく、布団に入ってから寝付くまでの時間が辛くて……。

女子学生：寝よう寝ようと思って、かえって眠れなくなっちゃうんだ。

男子学生：そうそう。

女子学生：じゃ、無理に寝ようとしなくて、軽く身体を動かしてみるとか、飲み物を飲むとか、何かほかのことをしてみたら？

男子学生：ああ、そうだね。そうしてみるよ。

**2 番** 先生が、動物を使ったアニマル・セラピーの分類について話しています。この先生が最後に挙げる例は、表のどれにあたりますか。

私たち人間は、動物と触れ合うことで心身ともに癒され、健康状態がよくなることがあります。これを利用した活動や治療のことを「アニマル・セラピー」といいます。

「アニマル・セラピー」のやり方は、表のように、セラピーを施設、つまり、病院や老人福祉施設のようなところで行うか、患者の自宅で行うか、また、動物を連れて患者のところを訪問するのか、患者のもとでペットとして飼うのかというように、4つのタイプに分けられます。

では、具体的な例をあげてみましょう。ある老人福祉施設は、アニマル・セラピーのために、敷地内で二頭の犬を飼っていますが、この例は、表のどのタイプと言えますか。

**3番** 先生が、調理法を表す図について説明しています。この先生が最後に挙げた例は、図のどこに位置しますか。

これは、料理を、その調理法によって図式化したものです。これを使うと、いろいろな料理の調理法を整理することができます。上にある「火」は熱源、下にある「油」「水」「空気」は、熱を伝えるものを表します。

例えば、焼き魚は熱を伝えるのに水や油ではなく空気を使います。この場合は「火」と「空気」を結んだ線の上にあることになります。また、エビのスフレという料理は、エビをゆでてからオーブンで焼きます。ゆでる時にお湯、オーブンで焼く時に空気、と熱を伝えるものを二種類使うので、「水」「空気」「火」の間の面に位置します。

それではフライドポテトはどうでしょう。フライドポテトを作るときは、まずじゃがいもをゆで、それから油で揚げます。これは図のどこに位置すると言えますか。

**4番** 女子留学生と男子学生が大学の交流会について話しています。この女子留学生はどの係を試してみようと思いましたが。

女子留学生：来週の交流会で何か手伝うことない？

男子学生：ある、ある。キャンパス見学もディスカッションも人手が足りないんだ。最後のスピーチでもいいし。

女子留学生：それは遠慮しとく。ねえ、ディスカッションの記録係って、メモをとったりするの？

男子学生：ディスカッション中は録音していればいいんだけど、あとで報告書にまとめてもらうかもしれない。

女子留学生：そう。録音だけならいいけど、まとめるのは自信ないな。リーダーは、もっと大変そうだし……。

男子学生：なら案内係は？ これなら事前に話すことも準備できるよ。

女子留学生：そっかー。コースとかも自分で考えるの？

男子学生：うん。学校内の自分の好きな場所とか自由に紹介してよ。

女子留学生：わかった。じゃ、ちょっと考えてみるね。

男子学生：うん、よろしく。

**5番** 先生がある山の森林について図を見せながら説明しています。この先生は、この山の森林は、数千年後、どの図のようになると言っていますか。

これは日本のある山の、森林限界部分の模式図です。森林限界というのは、それより高いところには森林は見られないという森林の上限ですが、この山の森林限界は、山の気候の条件から考えられる高さより、300メートルも低いのです。その原因は、地質、つまり地面の質にあります。

森林限界付近に育つ木は針葉樹なのですが、これより高いところの地質は、岩がゴロゴロしていて、針葉樹の生育に適さないのです。こうしたところには、ハイマツという、背が低くて、岩場でも育つ種類の松が生えています。この山の岩は氷河の作用によってできたと考えられますが、あと数千年もすれば、ここにも徐々に土壌が形成され、針葉樹が育ち、森林限界もあがるでしょう。そうなった場合には、ハイマツは、針葉樹林の中に低木として生育することになります。

**6番** 先生が、社会言語学の授業で話しています。この先生はこれから教科書のどの部分について詳しく話しますか。

同じ言語の中でも、形や使われ方の上で他とははっきり区別される変種が複数見られることがあります。こうした言語変種のうち、地域と結びついたものがいわゆる「方言」だということは、先週説明した通りです。

さて、実はこの方言の中でも、お年寄りの使う変種と若者の使う変種との間に違いが見られる場合があります。なぜこのようなことが起こるのでしょうか。これには様々な要因が考えられるのですが、一つにはマスコミの影響によって共通語に慣れ親しんだ世代が、方言に共通語を取り入れ、新しい言語変種を作り出している、ということが考えられます。今日は、その実態を見ていきましょう。

**7番** 男子学生と女子学生が発表で使うグラフについて話しています。この男子学生は、項目をどこから二つに分けると言っていますか。

男子学生：ねえ、発表で使うグラフだけど、項目を分類した方がよくない？

女子学生：分類？

男子学生：うん、見て、これ。(紙の音) 上の方が「結婚したくてもできない理由」で下の方が「自分の意思で結婚しない理由」じゃない？

女子学生：え、そう？

男子学生：たとえば、「お金が足りない」は「したくてもできない理由」と言えるけど、「仕事に打ち込みたい」は「自分の意思でしない理由」だよな。

女子学生：なるほど。

男子学生：だから、グラフを、「自分の意思でしない理由」と「したくてもできない理由」の二つに分けたほうが良いと思って。

女子学生：そうだね、その方がわかりやすいね

男子学生：うん。ええと……。 「何々したい」とか「したくない」とか書いてあるのは、「自分の意思でしない理由」の方だよな。

女子学生：うん。「いい相手がいない」っていうのは？

男子学生：「できない理由」の方じゃない？

女子学生：そうか。

男子学生：じゃあ、ちょうどここから上と下で二つに分けられるね。

**8番** 先生が、雨水の流出量について話しています。線Bはどういうことを表していますか。

雨が降って、雨水が土地の表面や土の中を流れて川へ流れ出すことを「流出」と言います。では、山の斜面に雨が降ったときの流出量を、斜面が森林の場合と岩の場合とで比較してみましょう。

プリントの上のグラフは降雨量を表し、下のグラフの2本の折れ線はそれぞれ、斜面が岩の場合と森林の場合の流出量を表しています。岩山では、雨が降り始めるとすぐに流出量が増え、雨がやむと流出量も急速に減ることがグラフからもわかります。一方、森林では雨が降り始めると徐々に流出量が増え、雨がやんでからも少しずつ水を放出しています。森林では木の枝や葉に雨水がたまるので雨がすぐ地面に落ちないこと、また森林の土が一時的に雨水を蓄えることなどがその理由です。森林は雨水をゆっくりと川に流出させ、川の水が急激に増えるのを防ぐというわけです。

**9番** 先生が動物学の講義で、ニホンザルの、群れの中の優劣について説明しています。この先生の説明によると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

ニホンザルは群れで生活していますが、群れの中には優劣の順位があって、この順位には規則があることがわかっています。

資料の例を見ながら考えましょう。AとBの家系にはそれぞれ、母ザルと、メスの子どもが二頭ずついます。メス同士の優劣には二つの法則があります。

一つ目の法則は、家系、つまり、血縁関係のあるグループの間に優劣があることです。優勢な家系に属するすべてのメスザルは、もう一方の家系に属するメスより、順位が上になります。資料の例では、Aの家系がBの家系より順位が上だとしましょう。

二つ目の法則は、同じ母親を持つ子どもの間では、歳が下のメスほど順位が上になるということです。これは、母ザルがいつも歳が下の子の味方をするために起こると言われています。

この二つの法則を考えると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

**10番** 先生が、川の環境改善計画について話しています。この先生が例に挙げる自治体が、十分に行っていなかったのは、図のどの段階だと言っていますか。

この図は、川や湖など、水の環境を改善する計画を作成する場合の、業務の流れを表しています。最初に、基礎調査をします。そのあと基本方針を検討し、また、将来の予測なども踏まえ、目標とする水環境を検討します。そしてその目標を達成するにはどんな対策が必要か検討し、それらを取りまとめて計画書を作成するわけです。

では、ある自治体の例を紹介します。市内を流れる川の汚れがひどくなったので、この自治体は、図の流れに沿って川の水質改善計画書を作成し、その計画を実行することにしました。ところが、実行する過程で、ある問題が起きました。川辺に水鳥が生息できる空間を作ろうとした際、そこの周辺住民に反対されたのです。この自治体は、計画を見直すとともに、図にあるそれぞれの段階を振り返りました。すると、川周辺の住民の意見を前もって十分に聞いておかなかったことがわかったのです。

**11番** 先生が、心理学の授業で、人間関係の変化について説明しています。この先生が最後に挙げる人間関係の例は、図のどこにあたりますか。

コミュニケーションの変化は人間関係のあり方にも変化をもたらします。この図は、親密な関係か疎遠な関係か、つまり、親しい関係かそうでないか、ということと、相手の顔が見慣れた顔か見慣れない顔か、という2つの軸線で人間関係を整理したものです。

かつては、見慣れた人というのは親しい人であり、見慣れない人は親しくない人でした。しかし、都市化が進み、毎朝、同じ通勤電車で出会う乗客同士のように、顔は知っていても親しくはない、といった人間関係が生じました。この関係は図の4に当たりますね。

では、次の例はどうでしょう。インターネット上では、顔を見たこともない人とのコミュニケーションが可能で、そこで、親しい人間関係が作られることも決して珍しくありま

せん。このような、インターネットの普及によって新しく生じた人間関係は、図のどこに当たりますか。

**12番** 先生が、「ピクトグラム」について話しています。この先生がプリントの例について説明している工夫は、どの項目にあたりますか。

ピクトグラムとは、危険を知らせる、道順を示すといった何らかの情報を、絵を使って多くの人に知らせる視覚記号のことです。

ピクトグラムのデザインでは、大切なことが4つあります。第一に見えやすいデザインであること。これを「視認性」と言います。次に、初めて見た人でも、絵が伝えている情報を直感的に理解できる「理解度」、それから、「記憶度」といって、一度見たら忘れないようなシンプルさも重視されます。また、見る人をいやな気持ちにさせない「調和性」も大切です。

プリントの非常口の例を見てください。このピクトグラムにもいろいろな工夫がされています。その一つが手の位置です。片方の手が建物の壁の外に出ているように描かれていますね。この工夫によって「ここから外に出られる」ということが的確に伝わるのです。